

当センターにおける
感染予防対策の取り組みについて

はじめに

当センターでは、患者さんが安心して安全な医療が提供できるように、様々な感染予防対策を実施しております。

今回は当センターで行っている、感染予防対策の取り組みをご紹介します。



～当センターで取り組んでいる感染予防対策～



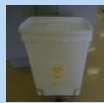
1患者1手洗い



擦式手指
消毒剤の使用



マスク・白衣
の着用



血液の付着した
ゴミは医療廃棄
物として処理

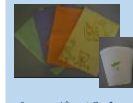
～当センターで取り組んでいる感染予防対策～



器具、器材に
合わせた消毒・滅菌



診療室における整理
整頓、清掃の励行



ティスパーザブル
の使用

7
4
6

～滅菌の工程をご紹介します～



①器具の回収



②消毒レベルまで洗浄



③滅菌保管パッケージに包装

～滅菌の工程をご紹介します～



④高圧蒸気やガスによる滅菌



⑤種類別に管理
3ヶ月以上経過したら再滅菌



感染対策予防の疑問…?



疑問 1

歯科器具を介して、肝炎やHIVは感染しませんか？

回答 1 ⇒ はい、しません。

観血的処置に使用する歯科器具は、器具除染用洗浄器にて国際規格で決められた90℃で5分洗浄・消毒を行い、その後オートクレーブ滅菌器で2気圧132℃で30分間滅菌処理を行いますので、肝炎ウイルスやHIVウイルスは死滅します。

疑問 2

患者ごとに器具を消毒や滅菌を行っているのですか？

回答 2 ⇒ はい。

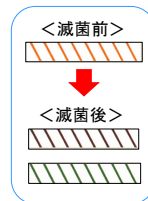
治療に使用する全ての医療器具は患者ごとに、消毒や滅菌処理した器具を使用しています。エプロンやコップなど消毒や滅菌できないものは、ディスポーザブル（使い捨て）で対応しております。

疑問 3

本当に器具は滅菌できていますか？

回答 3 ⇒ はい。

滅菌保管パッケージに包装して滅菌を行っています。滅菌を行った器具はパッケージについているインジケータの色が変わります。「滅菌済」か「未滅菌」かの判別を確認しています。



医療安全管理の徹底と共に、これからも感染予防対策の推進に努めてまいります。

感染予防対策について、お気づきの点やご質問などございましたら、ご意見をお寄せいただけますようお願い申し上げます。

